

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

校訓五綱領（剛健・質実・自重・自治・至誠）とシンボルであるサンタマリア号のパイオニア精神の下、豊かな個性の伸張と人間性の尊重、陶冶に努めることにより、高い志をもち、国家・社会に貢献する気概に満ち、国際人として様々な分野で活躍するリーダーとなる人材を育成するため、特に次の能力を育むことをめざして全人格的な教育を行う。1920年に設立され百年を越え維持されてきた校風を大切にしていく。

- 高い知性、豊かな人間性、健やかな心身と強い意志をもって未来に生きる総合的な人間力
- 高い基礎学力と自学自習力を有し、自ら課題を発見し解決していく能力
- 他者を尊重し理解する能力に秀でるとともに、他者と協働する能力や自らの考えを世界に発信できるコミュニケーション能力

## 2 中期的目標 令和2年度は、GLHS校再指定3期め4年め、SSH校更新年、百周年実施年である状況に鑑み、取り組みの一層の充実を図る。

## 1 高い知性と確かな学力の育成

(1) 「授業で勝負」。質の高い授業と生徒の積極的な授業参加により高い知性と確かな学力を育成する。アクティブラーニングの視点からの授業の改善充実を進めることで生徒の学習意欲を高める。授業中心の「予習→授業→復習」という毎日の学習サイクルを確立し、基礎学力の定着と自学自習力の向上を図る。あわせて基礎学力の定着が十分でない生徒に対するきめ細かい指導も行う。

- ア 生徒による授業評価、研究授業、相互の授業参観を行って授業の改善充実に努め、生徒の授業理解度及び授業満足度の向上を図る。
- イ 指名補習を定期的実施するとともに、「学習と生活のスタンダード」を活用して家庭での学習時間の確保を図る。また、自習室・図書館の利用を促進する。
- ウ 主体的・協働的に学ぶ姿勢を育成するための学習・指導方法等を充実させる。

※生徒による授業評価の「授業理解度」が、3学年平均で80%以上(H29～88.7%、H30～88.2%、R1～88.5%)を維持する。

(2) 「言葉」と「体験」をキーワードに多様な学習の機会を開設し、生徒の自ら学び、考え、判断し、行動する力を育成する。

- ア グローバルリーダーズハイスクール (GLHS) 事業やスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業等を活用し、生徒の英語活用能力、課題発見能力、論理的思考力、分析力、プレゼンテーション能力などの向上を図る。
- イ 教科・科目の授業や探究活動において ICT を積極的に活用し、情報リテラシー（収集、選択、活用、編集、発信する能力）の向上を図る。

※4技能習得の基礎固め及び動機づけのため、第2学年の修了までに英検2級の取得をめざす。

## 2 高い志の育成と国公立大学への進学実績の向上

(1) 3年間を見通した進路指導によって高い志と明確な目的意識を育成し、生徒の興味・適性・個性に応じた進路選択を支援する。また、生徒の進路希望を実現するため、授業・講習等により学力向上を図る。

- ア 進路HRを中心に計画的な指導と情報提供に努め、主体的な進路実現を支援する。
- イ 探究活動やSSH事業を通じて興味関心を深く掘り下げながら進路を考える機会を増やす。
- ウ 1年次から高い目標をもたせ、京・阪・神大をはじめとする国公立大学を目標とする指導を充実する。
- エ 授業に加えて、必要に応じて、進路指導部が中心となって各学年で計画的な講習を実施し、学力の向上を図る。

※京・阪・神大をはじめとする国公立大学への進学者数を現役で125名以上(H29～125人、H30～155人、R1～122人、現役・一浪で200名以上(H29～187人、H30～216人、R1～173人)をめざす。

## 3 豊かな人間関係を醸成する行事・部活動の振興と生徒指導の充実

(1) 普通科・文理学科一体の学校行事と部活動、学校内外の体験活動を通じて豊かな人間関係と自主性、自律性を育て、リーダーシップを育成する。

- ア 生徒実行委員会による学校行事の運営を進める。
  - イ 自主性を尊重した部活動の運営を推進するとともに、学習と部活動の両立を図る。
  - ウ 文化系部活動振興の一環として、科学系部活動を統合する組織により、探究活動の深化・発展を図る。
- ※学習と部活動の両立ができていない生徒が、60%以上(H29～54%、H30～54%、R1～56%)になることをめざす。

(2) 全教職員による生徒指導によって規範意識やマナーの向上を図り、よりレベルの高い「規律ある進学校」をめざす。

- ア 挨拶、遅刻、規律ある服装・頭髪、交通ルールの遵守等の指導を充実する。

※遅刻数は1,500以下(H29～1661人、H30～1780人、R1～1928人)をめざす。

(3) 体験を重視した人権教育を通じて人権感覚を育て、人権問題の解決に向けた態度の育成を図る。

- ア フィールドワークや当事者との交流の機会を充実する。

(4) 配慮を要する生徒へのきめ細かい指導を行い、特に不登校の予防と不登校生徒へのケアに努める。

- ア 教育相談室を中心に、配慮を要する生徒の情報を迅速に収集して関係教職員が共有するとともに、スクールカウンセラーや専門機関との緊密な連携に努める。

## 4 効率的学校運営に努力し、働き方改革を推進する。

(1) 首席・主任・部長を中心としたミドルアップ・ダウンを一層活性化するとともに、分掌主導の学校運営を推進し、学校の組織力向上を図る。

- ア 分掌・学年・教科・委員会等の会議を活性化するとともに、課題に応じて適宜、分掌・委員会主導のグループセッションを開催する。
- イ 分掌・委員会は「学校経営計画」の具体化にあたって、学年・教科に対して方針を提示するなどリーダーシップを発揮する。

(2) 学校経営計画を踏まえた各組織目標のPDCA（マネジメント）サイクルを効果的に運用し、学校目標の高いレベルでの達成をめざす。

- ア 分掌・学年・教科・委員会は、それぞれの目標とその進捗状況及び達成状況を職員会議等に報告する。

(3) 教職員が生き生き働きやすい職場環境改善に努力する。勤務時間が守れるよう努力する。

## 5 研修・研究活動の充実

(1) 教職員が相互に高めあう職場環境づくりを進める。また、学校を挙げて若い教職員を育てる体制づくりを進める。

- ア 教科会議で指導方法や指導内容、教材、評価等について研究する。
- イ 校内研修を充実し、校外研修の報告を徹底する。
- ウ 「育成プログラム」に沿って計画的な研修を実施する。

## 6 開かれた学校づくりと広報活動の推進

(1) 学校教育自己診断、学校運営協議会、学校評価、学校経営計画を有機的に関連させることで学校運営の改善を図る。

- ア 学校運営協議会からの意見や学校評価の結果を学校運営に生かすとともに、評価結果を広く公表する。

(2) 学校運営について保護者・府民への説明責任を果たすためHP等の充実を図る。また、中学生・保護者等を対象とした広報活動を充実する。

- ア 保護者との連携を強化するとともに、学校見学会や各種説明会を開催する。

(3) 令和2年に百周年を迎える。同窓会、PTAと連携し、百周年が本校メモリアルポイントとなるよう記念行事、記念式典、祝賀会、記念誌等、百周年記念実行委員会と共に、校内でも努力する。

## 7 教育環境の整備と安全で安心な学校づくり

(1) 教育の場にふさわしい環境の整備に努める。

- ア 環境整備の一環として、教室、廊下、職員室、準備室等の清掃の徹底に努める。
- イ 定期的な安全点検を実施して施設・設備の改善に努める。
- ウ 教育支援協議会等の支援も得て施設・設備の充実に努める。

<p>エ 教職員が働きやすい職場環境づくりに努める。</p> <p>(2) 防犯体制を強化し、「いのち」を大切に教育と人権に配慮した生徒指導を一層推進する。</p> <p>ア 防犯・防災訓練を充実し、生徒・教職員の危機管理意識の向上を図る。</p> <p>イ 心肺蘇生法・熱中症予防等の講習、薬物乱用防止教育の充実を図る。</p> <p>ウ 携帯に関する指導を徹底するとともに、体罰・いじめ・セクハラの生じない学校運営と指導に努める。</p> <p>エ 個人情報の取扱に関する内規の周知徹底を図り、個人情報の管理を徹底する。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学校教育自己診断における結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 2年12月 実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【教職員アンケート結果】</b> R1年に比べて肯定回答率が増加し、否定回答率が減少した。学校の諸問題が解決してきていると考えている人が増えてきていると考えられる。</p> <p>「教育相談体制が整備されている。」「学校行事を生徒にとって魅力あるものとするために改善している」「部活動の活性化について工夫している」が肯定回答率90%を超えて上位に居るが、「ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている」「施設・整備の拡充が長期的視点にたって整備されている」「研修に参加した成果を他教員に伝える機会がある」が否定回答率65%を超えており改善が必要である。</p> <p><b>【保護者アンケート結果】</b> 保護者向け学校教育自己診断はWEB上に回答して頂く形で実施した。回答率は46%と昨年度に比べて20%程度低下した。生野高校に進学させて良かったは90%、友人関係は良好であるが91%と高い結果が出た。一方、感染予防のため学校に来る機会は減った。授業参観に参加している。(コロナ予防で実施できず)学校行事に満足している。73%など、感染予防のために文化祭は実施できず、修学旅行も愛媛県・高知県などの近隣になった影響も感じられる結果が出た。</p>	<p><b>【第1回学校運営協議会結果】</b> 第1回学校運営協議会は、学校経営計画・学校評価を運営協議委員に文書で郵送しそれに返信して頂く形で実施した。議長を務める大学准教授からは、「学校経営計画」「学校評価」について、非常に多角的・多層的な手立てが講じられたことにより、総合的に高い成果を上げている。授業満足度など、生徒たちが高校生活を満喫している様子がうかがえる。SSH報告書については、大変充実した内容であり、進路実現に向けて大学を始めとする多様な機関と密接に連携を取りながら、文系・理系、教科の枠を超えて総合的な高い学力を保障できるよう日々奮闘されている様子がうかがえる、と回答頂いた。保護者の方からは、センター試験5教科7科目受験率を上げて欲しい、英語技能をはかる試験を積極的に受けさせて欲しい、地元の指導主事の委員からは市立中学校生徒とふれあう機会がとれたら、本校の良さが市内に一層伝わると考えられるとの意見を頂いた。</p> <p><b>【第2回学校運営協議会結果 (12月16日実施)】</b> 第2回学校運営協議会は、学校に集まる形で実施した。学校側から、前回の「学校経営計画・学校評価」に加えて、グローバルリーダーズハイスクール (GLHS) 事業の進捗状況、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業の進捗状況、教科探究委員会の取り組み、三菱みらい育成財団の進捗状況について報告した。まず、「学校経営計画」の他に、GLHS事業、SSH事業、三菱みらい育成財団助成事業など、公立高校でありながら、多数の事業に併行して取り組んでいることに賛辞を頂戴した。また、SSHは3期目12年目、GLHSは4期目10年目に入ることなどについて、多数の事業に参画しながら結果を出し続けていることについても謝辞を頂いた。本校は多数の多角的に事業に取り組んでいるために、経過報告を多くした。その中で、授業アンケートの全体結果が、H29:3.23(80.1)→H30:3.28(82)→R1:3.32(83)→R2:3.4(85)と上昇していることも多角的な取り組みが生徒からの結果につながっていると評された。</p> <p><b>【第3回学校運営協議会結果 (2月17日実施)】</b> 地元中学校や保護者からは本校のイメージとして、「近くて入れない学校」というイメージが強いとの意見があった。地元で愛される学校とするため、今後中学校等との交流を更に深めていく必要があると考えられる。施設面ではかなり古く、改善が必要なのではという意見が多数寄せられた。今年度は様々な設備で老朽化による故障が相次ぎ、修理が大変であった。生徒が安心して学ぶことができるよう、今後も施設設備の改善に努めていきたい。</p> <p>GLHSをはじめ様々な指定校になっているのは良いが、そのために一部の教員に負担が集中しているようなら、改善を図るべきであろうとの意見を頂戴した。その負担もさることながら、時間外勤務時間が月80時間を超えている教員の大部分は部活動付添によるものなので、府立高校全体の勤務体制改善が待たれる。</p> <p>アンケート結果はほとんどの項目で良い方向に変化しているが、経年変化を見るだけではなく、何故そういう結果になったのか、教員間および生徒間で検討する作業が必要だとの意見を頂いた。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価																																																								
1 高い知性と確かな学力の育成	<p>(1)アクティブ・ラーニングの視点からの授業の充実改善と基礎学力の定着、自学自習力の育成</p> <p>ア 生徒による授業評価、研究授業、相互の授業参観の実施</p> <p>イ 指名補習の実施、「学習と生活のスタンダード」を活用した家庭学習の充実</p> <p>ウ 主体的・協働的に学ぶ姿勢の育成</p>	<p>(1)</p> <p>ア 7月と12月に生徒による授業評価を実施し、その結果をもとに教科で対策を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で年間最低1回の研究授業を実施する。</li> <li>全教員が年間最低2回の授業参観を行う。</li> </ul> <p>イ 1・2年生を対象に一定期間週1回程度の指名補習等を実施する(国・数・英)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習と生活のスタンダード」を踏まえ、一人ひとりの生徒に学習計画を作成させ、限られた時間を無駄なく活用する生活を指導する。</li> <li>定期的に学習時間等の実態調査を行い、家庭学習の時間等を把握する。</li> </ul>	<p>( )内はR1年度実績</p> <p>(1)</p> <p>ア・授業評価における授業理解度</p> <p>1年70%以上(85.3%)</p> <p>2年80%以上(82.5%)</p> <p>3年85%以上(88.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己診断(生徒用)の「現在行われている授業に満足している」70%以上(62%)</li> </ul> <p>イ・補習を連続して受講する生徒25%以下</p> <p>(1年2%・2年3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年の平日の自学自習時間1・2年とも前期90分以上</li> <li>2年後期120分以上</li> </ul> <p>(1年76分・66分2年70分・81分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平日の自学自習時間1時間未満の生徒の割合30%以下(1年28.9%・2年24.3%)</li> <li>自己診断(生徒用)の「家庭学習をしっかりと行っている」65%以上(68%)</li> </ul>	<table border="0"> <tr> <td>第一回目</td> <td>第二回目</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年 88.7% ◎</td> <td>88.1% ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年 89.1% ◎</td> <td>91.1% ◎</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年 88.8% ○</td> <td>89.1% ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年 71%○</td> <td>2年 65%△</td> <td>3年 70%○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均 69%△</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年前期 84.8分△</td> <td>2年前期 72.1分△</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年後期 86.9分△</td> <td>2年後期 77.3分△</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1時間未満(前期)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年 29.4%○</td> <td>2年 30.1%△</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1時間未満(後期)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年 28.1%○</td> <td>2年 23.8%○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年 54%△</td> <td>2年 70%○</td> <td>3年 84%◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均 69%○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	第一回目	第二回目			1年 88.7% ◎	88.1% ○			2年 89.1% ◎	91.1% ◎			3年 88.8% ○	89.1% ○			1年 71%○	2年 65%△	3年 70%○		平均 69%△				1年前期 84.8分△	2年前期 72.1分△			1年後期 86.9分△	2年後期 77.3分△			1時間未満(前期)				1年 29.4%○	2年 30.1%△			1時間未満(後期)				1年 28.1%○	2年 23.8%○			1年 54%△	2年 70%○	3年 84%◎		平均 69%○			
第一回目	第二回目																																																											
1年 88.7% ◎	88.1% ○																																																											
2年 89.1% ◎	91.1% ◎																																																											
3年 88.8% ○	89.1% ○																																																											
1年 71%○	2年 65%△	3年 70%○																																																										
平均 69%△																																																												
1年前期 84.8分△	2年前期 72.1分△																																																											
1年後期 86.9分△	2年後期 77.3分△																																																											
1時間未満(前期)																																																												
1年 29.4%○	2年 30.1%△																																																											
1時間未満(後期)																																																												
1年 28.1%○	2年 23.8%○																																																											
1年 54%△	2年 70%○	3年 84%◎																																																										
平均 69%○																																																												

府立生野高等学校

	<p>(2) 自ら学び、考え、判断し、行動する力を育成 ア GLHS 事業やSSH 事業の活用</p>	<p>ウ 主体的・協働的に学ぶ姿勢を育成するための学習・指導方法等を研究する。</p> <p>(2) ア 「探究」の校内発表会を実施し、校外発表会に参加する。その際、SSH の発表では、英語による発表を奨励し、海外科学研修で発表を行う。 ・SSH 校外研修、海外語学研修、海外科学研修、イングリッシュキャンプ、TOEFL iBT チャレンジ講座等を実施する。 ・オーストラリア FCAC との相互交流の準備をする。 ・ネイティブ教員を配置し TOEFL iBT を扱った授業を実施する。 ・英検、漢検の受験を奨励する。</p>	<p>ウ・自己診断（生徒用）の「勉強して楽しい」 1・2年 60%以上 （1年 52%、2年 57%） ・自己診断（生徒用）の「特に印象に残っている授業がある」 1・2年 60%以上 （1年 57%、2年 62%）</p> <p>(2) ア 各事業の参加者の満足度 80%以上 探究活動に関する事後の満足度 (81%) 海外語学研修 (98%) SSH 海外研修 ↓ 新型コロナ関係で実施できず ・英語検定 2 級取得率 50%以上 (2 次 63%)</p>	<p>1年 59%△ 2年 62%○ 3年 65%○ 平均 62%○</p> <p>1年 57%△ 2年 70%◎ 3年 73%◎ 平均 67%◎</p> <p>海外語学研修実施できず (-) グローバルリーダ研修 15名→23名 ◎ ・英語検定 2 級取得率 50% (○)</p>
<p>2 高い志の育成と国公立大学への進学実績の向上</p>	<p>(1) 高い志と明確な目的意識の育成、計画的な講習による進路希望の実現 ア 計画的な指導と情報提供による主体的な進路実現の支援 イ 探究活動やSSH 事業による興味関心の深化 ウ 京・阪・神大をはじめとする国公立大学を目標とする指導 エ 進路指導部を中心に各学年で計画的な講習を実施</p>	<p>ア 分掌と学年が連携して進路HR、一日総合大学、大学見学会等を実施する。また、社会の第一線で活躍する先輩等の講演会を実施する。 イ 生徒の興味関心に応じたテーマの設定、放課後の活動をサポートする。 ウ 高い目標を持ち最後まで諦めない指導を継続する。 ・センター試験対策を充実する（授業の改善充実と3年講習を5教科で実施） エ 3年は平日と土曜日、長期休業に実施し、1・2年は長期休業を中心に実施する。</p>	<p>ア 夢ナビ参加者数 1・2年で400名 (268名) 一日総合大学 満足度 98%以上 (95%) イ 探究活動やSSH 事業の活動を通して進路について考える機会が増えた割合 70%以上 (71%) ウ センター試験受験者 85%以上維持 (93.4%) ・国公立大学進学率（現役・一浪で）60%以上 (203名、56.4%、R2/04/27 現在) エ 3年平常時 15 講座以上 1・2年は国・数・英3教科で実施(17 講座)</p>	<p>ア R2年度、夢ナビは実施されなかった(-) ※74 期2年対象に 10 月に卒業生を囲む会を実施した。参加満足度は 95%(○)</p> <p>イ 探究活動やSSH 事業の活動を通して進路について考える機会が増えた割合 72% (○)</p> <p>ウ 共通テスト受験者 322/353=91.2% (○) 国公立大学進学率 52.4% (△)</p> <p>エ 講習について 3年前期 14 講座 後期 13 講座 2月講習 2 講座 1年は夏期休業期に国・数・英の講習実施 ○</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 豊かな人間関係を醸成する行事・部活動の振興と生徒指導の充実</p>	<p>(1) 豊かな人間関係と自主性・自律性・リーダーシップの育成                  ア 生徒実行委員会による学校行事運営                  イ 自主性を尊重した部活動の推進、学習と部活動の両立                  ウ 科学系部活動のさらなる活性化</p> <p>(2) 「規律ある進学校」の実現                  ア 規範意識・マナーの向上</p> <p>(3) 人権教育の充実                  ア 体験重視の人権教育</p> <p>(4) 配慮を要する生徒へのきめ細かな指導                  ア 情報の迅速な把握と共有化、関係機関との連携                  イ 欠席生徒への情報共有及び対策</p>	<p>(1)                  ア 体育祭、文化祭、合唱コンクール等の行事を極力生徒自身に企画・運営させる。                  ・リーダー講習会を実施する。                  ・他校執行部との交流、ボランティア活動など、学校外への働きかけを意欲的に行う。</p> <p>イ 顧問の指導の下、生徒自身に活動のあり方を考えさせることにより、自主性と自律性の向上をめざす。                  ・「生活のスタンダード」を踏まえ、学習と部活動の両立を図る。</p> <p>ウ 既存の部と同好会を束ねる「科学系クラブ連合」により探究活動の深化・発展を図る。</p> <p>(2)                  ア 全教員による挨拶、遅刻、規律ある服装・頭髪、交通ルール遵守等の指導の充実                  ・生徒の地域活動（清掃活動等）を推進する。</p> <p>(3)                  ア フィールドワーク、当事者との交流機会の充実</p> <p>(4)                  ア 年3回の欠席調査や学年会議等で情報を把握、ケース会議を随時開催して情報の共有化を図り、指導方法を検討する。                  ・保護者の協力を得て、スクールカウンセラー、府立高等学校適応指導教室や専門機関と緊密に連携して指導にあたる。                  ・教育相談室の整備を図る。</p>	<p>(1)                  ア 各行事の満足度・達成度 90%以上                  (体育祭 97%                  文化祭 99%)</p> <p>イ 部活動に対する満足度 80%以上 (82%)                  ・自己診断 (生徒用) の「学習と部活動の両立ができています」 60%以上 (56%)</p> <p>ウ 科学系部活動参加者による発表・表彰が前年度並み                  科学系部活動入部者 前年比 5%以上上昇</p> <p>(2)                  ア 遅刻数を 1,500 回以下 (1928 回)</p> <p>(3)                  ア 事後のアンケート調査での肯定的評価 70%以上                  リバティ大阪見学 91.1%                  車いすバスケット講演&amp;体験 100%</p> <p>(4)                  ア 不登校生については、教育相談委員会を中心に、保健室やスクールカウンセラーと連携し、校長・教頭にも相談を仰ぎながら対応する。</p>	<p>体育祭 97% ◎                  文化祭中止</p> <p>1年 87%◎ 2年 89%◎ 3年 79%△                  平均 85%○</p> <p>1年 62%○ 2年 61%○ 3年 64%○                  平均 62%○</p> <p>昨年度 44名 今年度 49名 11%増◎</p> <p>今年度 1873 回△</p> <p>リバティ大阪は閉館となり見学できず。来年度も不可。2022年に場所を変更してオープン予定との情報あり。(一)                  車いすバスケット講演&amp;体験 中止 (一)                  行事予定を組み替えた結果、例年実施している10月～11月の期間に行事が多数かたまってしまったため。                  本校の人権教育に関する肯定感は96%</p> <p>不登校生については、教育相談委員会を中心に、保健室やスクールカウンセラーと連携し、校長・教頭にも相談を仰ぎながら対応し、無事、進級・卒業できた。○</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 将来啓発事業拡大、記念事業、働き方改革</p>	<p>(1) 将来啓発事業拡大</p> <p>(2) 記念事業</p> <p>(2) 超勤時間の減少</p>	<p>(1) 「灯びプロジェクト」「将来啓発シンポジウム」等を通して生徒に将来を考えさせる機会を増やす。</p> <p>(2) 百周年記念事業校内委員会を中心に、実行委員会と共に、令和2年10月20日の記念式典に向け、記念誌、記念行事、記念式典、祝賀会、広報・記念品等の事業を進捗管理する。</p> <p>(3) 月当たり 80 時間以上超勤者件数延べ人数を前年度より減らす。</p>	<p>(1) 「灯びプロジェクト」参加者 30人以上、「将来啓発シンポジウム」1回以上実施。</p> <p>(2) 百周年記念式典・祝賀会・記念事業、記念誌を周年事業にふさわしい形で実施する。</p> <p>(2) 月当たり 80 時間以上超勤者延べ人数を前年度より減少する。</p>	<p>(1) 「灯びプロジェクト」は感染予防のために中止。「将来啓発シンポジウム」は4人の講演者が来校予定であったが、WEB 会議実施方式で実施した。◎</p> <p>(2) 百周年記念事業は3月から工事し9月に無事に竣工し竣工式実施。記念式典は感染対策をして学校と外部会場の2会場同時中継で実施。                  ◎ 記念誌、及び記念祝賀会は準備中</p> <p>(3) 月あたり 80 以上超勤者数延べ人数は、14名から 11名へと減少した。◎</p>